

「幼子と共に」7月号

はじめに

梅雨の時期に入り、いよいよ、夏の訪れを感じる今日この頃、子どもたちも、徐々に幼稚園での生活に慣れ始め、安心して、それぞれの個性を出しながら、楽しく幼稚園で過ごしている様子が見受けられます。沢山の経験を積み重ねた、子どもたちの今の姿をありのままに受け止めながら、今月も保育をしていければと願っています。

お疲れサメでした！

遠足に登場したあの「サメ」を覚えているでしょうか？青い可愛い二匹のサメと黒くて大きな一匹のサメです。子どもたちを追いかけた、あのサメたちです。

あのサメたちが、今、どのようにしているか、ご存じですか？実は、べにばら組とのばら組の間の廊下に、仲良く並んで置いてあるのです。

すると、今度は、子どもたちがサメになりきります。そして、友だちや先生を追いかけます。つかまると食べられます・・・(笑)

ある子は、ぶつかるといふ仕方で、食べにきますが、ある子は、上からかぶさるようにして食べにきます。尾びれで園長のお尻を叩く子もいます(笑)。



三匹しかいませんから、取り合いになります。相談したり、譲り合ったりします。使えなくて泣き出す子もいますが、それを見て貸してくれる子もいます。遠足の中でも、本当に短い一場面の登場でありましたが、こんなにも遊びこんでくれるとは・・・さすが子どもたちです！

このように、ただ一度の遠足での経験が、むしろ、導入となり、日常の遊びに移行することがあるのです。幼稚園生活で、まだ、少し、不安が残り、遊びが定着していなかったお友達も、サメをきっかけに遊びが見つかり、今や、笑顔いっぱい、過ごしています。

一回したら終わり！ではなく、そこにさりげなく置いておくだけで、子どもたちの遊びが広がるだけではなく、それをきっかけに、子どもの居場所も作ることができるんだなあと感じました。

そして、このようなことを、さりげなく、自然にできる、越谷幼稚園の先生たちは、本当に、子どもたちの繊細な心に寄り添える、素晴らしい保育者たちだなあと感じさせられるものです。それは、各クラスの壁面や製作を見ていても、いつも思わされているものです。

因みに、ある日のことです。職員室にいたはずの、田口先生と園長が、忽然と消えたことがありました。何かあったのかと副園長は心配したようですが、真相は、二人とも、子サメたちに捕食されていたのです(笑)。それで終われば済むのですが、その後、田口先生は、自らサメになって、子どもたちを、本気で追いかけていたのを、園長は見逃していません(笑)

あー夏休み♪

7月に入りました。今月末から夏休みを迎えます。一学期も、皆様の多大なるご支援、ご協力によって、過ごすことができました。本当に、心から感謝申し上げます。夏休みまでの間も、子どもたちの成長と安全に心を配りつつ、保育をしまいたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

自慢にはなりませんが、私は、日本で一番、夏休みを満喫したい牧師であると思っています。夏休みという言葉が聞いただけで、今でも心が、いつもより2倍くらい躍るものですし、平日よりも、夏休みの方が忙しいのではないかと思うほど、満喫したいタイプの人間です。そもそも、7月号に、夏休みの話題を出してしまうぐらい、夏休みを意識してしまう人間です。要するに、遊ぶのが大好きなのです(o^ー^o)

夏休みにしかできない遊びが、沢山あります。子どもたちにも、沢山の体験をさせたいものです。そして、その体験(具体的に行動すること)が、経験(行動したことが知識や知恵に変わる状態)に変わり、子どもたちを、より大きく成長させる糧となることを信じたいと思います。

幼稚園でもまた、遊ぶ体験が、生きるための経験になればと、心から願っています。サメ一つをとっても、沢山のことを知り、糧とすることができる子どもたちですから、きっと、この幼稚園を通して、あるいは、幼稚園につながる、それぞれのご家庭を通して、沢山のことを体験し、それを経験にかえながら、子どもたちは、子どもたちのペースで確実に前進していくのだと信じています。

そして、何よりも、私達が、神様の愛、キリストの愛を体験できるのが、礼拝です。子どもたちとともにささげる礼拝は、私達に生きるための大切な知恵を与えてくれます。この礼拝体験が、人生の良い経験となることを信じ、子どもたちが希望の内に、それぞれの人生を歩むことを心から祈り願うものです。

2023年6月27日

園長 須賀 工